

平成30年度事業実施状況

1. 公益事業

① 公益目的支出計画事業

a) 一般市民への防災知識等の普及を図る事業（継続事業1）

日本気象協会シンポジウムの開催、東京都防災展、震災対策技術展東北への参加、「HERASEON（ヘラセオン）」（豪雨・暴風疑似体験学習アトラクション）の公開展示、「わかりやすい気象現象と災害」アニメシリーズの配布、平成30年7月豪雨の被災地への携帯型熱中症計の配布、講演会・講習会の共催・後援や講師派遣等を実施した。

b) 調査研究の成果を広く学術・科学技術振興に供する事業（継続事業2）

京都大学防災研究所に設置した寄附講座「気象水文リスク情報（日本気象協会）研究分野」において、第二期設置期限（2013年10月～2018年9月）の区切りとして「気象水文リスク情報（日本気象協会）研究分野 最終成果報告会」を開催し、さらに同寄附研究部門を5年間延長（2018年10月～2023年9月）することとした。また、政策研究大学院大学へ防災政策研究教育の推進を図るため寄附を行った。

c) 公益事業の事務局を運営しその達成を助成する事業（継続事業3）

電力気象連絡会及び鉄道気象連絡会等の事務局運営を実施した。

② その他公益事業

岡田記念事業として、2018年9月28日に、「長年にわたり気象学の普及及び気象業務の発展に大きく寄与した功績」をたたえ、木村龍治氏（東京大学名誉教授）を表彰した。

2. 収益事業

① 防災ソリューション事業

先進事業、防災支援事業、交通ソリューション事業を推進した。

- ・線状降水帯予測技術の開発業務
- ・新型レーダによる降水粒子判別手法の開発業務
- ・物流、小売、アパレル、医薬等対象とした商品需要予測業務（eco×ロジ）
- ・避難支援サービスの開発・実証実験
- ・自治体向け防災情報の提供業務
- ・道路維持管理のための気象情報提供および観測・解析業務
- ・鉄道運行管理や維持管理のためのシステム構築および気象情報提供業務
- ・波浪や潮位の観測／解析および波浪情報の提供システム構築業務
- ・内航船／外航船向け安全航行および経済運航支援情報提供業務
- ・波浪 DB 提供サービス（POLARIS Hindcast）の開発

- ・ 気象技術に関わる海外支援事業

② 環境・エネルギー事業

環境影響評価事業、環境解析事業、エネルギー事業を推進した。

- ・ 陸上及び洋上の風力環境影響評価業務
- ・ 火力発電、地熱発電建設に伴う環境影響評価業務
- ・ 地球温暖化影響評価および適応策等に係る調査研究業務
- ・ 海外での環境社会配慮業務
- ・ 再生可能エネルギーの出力及び電力需要の予測システム構築及び情報提供業務
- ・ 洋上風力に関する波浪、風速等に関する開発実証業務
- ・ 発電所運営に影響を及ぼす竜巻などの災害リスク検討業務
- ・ 津波監視システム構築業務
- ・ ドローンの運行管理に資する気象情報提供の開発業務

③ メディア・コンシューマ事業

メディア事業、コンシューマ事業を推進した。

- ・ 放送局向け天気番組提供システム「空 art」を中核とした気象情報提供とキャスター出演・解説業務
- ・ 新聞社／ラジオ局／CATV 等マスメディアへの気象情報提供業務
- ・ 花粉や桜開花予想などの季節コンテンツ提供業務
- ・ 177 天気予報電話サービスへの気象情報提供業務
- ・ 自社インターネットメディア「tenki.jp」での情報サービス
- ・ ポータルサイト各社、各インターネットサービス、スマートフォンアプリ、広告／販促等へのコンテンツ提供業務
- ・ デジタルサイネージ向けコンテンツ提供業務
- ・ 携帯公式サイト「tenki.jp+more」での情報サービス提供
- ・ 「熱中症ゼロへ」「トクする！防災」プロジェクトの推進